



みんなでつくるばんどう未来ビジョン 各種政策に取り組んでいます

こども政策② 子育ての安心・保護者負担軽減

子どもを安心して生み育てることができるまちを目指し、子どもの健やかな成長と子育て世代への更なる支援の充実を図るため、安定的な財源確保に努めながら、段階的に施策に取り組んでいます。

●主な取り組み



多子世帯の給食費無償化

多子世帯の負担軽減のため、坂東市立小・中学校に同時に在籍している児童・生徒のうち、**第3子以降の学校給食費を平成29年9月から半額免除、続いて平成30年4月から全額免除**しています。

今後も保護者の負担軽減につながる、さまざまな取り組みを行っていきます。

すこやか医療費助成制度の充実

平成29年12分月から、**すこやか医療費（坂東市独自の制度）の対象者を12歳から18歳まで拡大**し、入院・外来の助成を行っています。

この制度は茨城県の医療福祉費（通称マル福）の対象にならない保険適用分の医療費について助成するものです。

マル福：出生～小学校6年生までの入院・外来と、中学生～高校生までの入院で保険適用分医療費の一部を助成する制度。所得制限があります。



こそだてステーション Banby (バンビィ) オープン!



今年10月から、**子育て世代包括支援センター「バンビィ」を市役所1階に開設**しました。妊娠・出産・子育ての過程を切れ目なく応援します。母子健康手帳の交付・妊産婦健康相談・子育てに関するさまざまな相談などを行っています。

※ Banby (バンビィ) = Bando+ ^{バンドウ}かわいい ^{ベビー}Baby

新生児聴覚検査費の助成

今年4月から、新生児聴覚検査を生まれてすぐの赤ちゃんにお受けいただくため、**検査費用を助成**しています。専用の機器を使用して先天性聴覚障害を早期に発見し、早い段階で適切な治療につなげるためのものです。

出産した病院で聴覚検査を受けていただいた赤ちゃんのママ、梶嶋瑞希さんにお話を聞きました。

※検査方法により2,000円～3,000円の助成があります。

上の子の時にはなかったけど、新しい制度ができたんですね。子どものための検査費用が助成されて、安心して検査を受けられました。負担にならずにすんでよかったです!



梶嶋心優ちゃんご家族
(3か月健診にて)